



# 学校だより

1月号(第03-10号)

TEL : 591 - 4183

令和4年1月28日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

令和4年、新たな年を迎えました。

新年らしい職員室前

雪道の登校で始まった3学期。始業式では、子どもたちに、一日一日の大切さが上手く伝われば、と『1.01』と『0.99』の法則』の話をしました。この法則は、楽天の三木谷（みきたに）社長の著書「成功のコンセプト～Principles for Success」で記載されて有名になったものです。



(始業式校長講話抜粋)

「1.01」は、「1」より僅かだけ大きい。「0.99」は「1」よりも僅かだけ小さい。

その差はたった「0.02」です。1.01はちょっとだけがんばった。0.99はちょっとだけがんばれなかったと読み替えたとき、一日では0.02の差なのですが、これが365乗、1年になるとどうなるか。ほんのちょっと努力した場合の1.01の365乗は37.8。逆に、0.99の365乗は0.03。1年間で1260倍の差が付きます。1日サボってしまった場合、次の日に、サボらずちゃんとやった人に追いつくには、計算してみると実は、3.1倍の努力が必要ということになります。

地道な努力の先にこそ大きな成長がある。部活動とかでもそうですよね。走りこんだからと言ってすぐ足が速くなるわけじゃないけど、続けていくうちに気付いたら体力もついて、足も速くなる。その継続が、肉体的にも精神的にも強さにつながります。一日一日を大切に、一生懸命に取り組んで、「明るく・楽しく・前向きに」自分を高めて欲しいと願っています。

新型コロナオミクロン株の感染拡大が続いています。子どもたちの学びを可能な限り継続できるよう、引き続き保護者の皆様と思いを合わせて、それぞれの感染拡大防止に努めながら、子どもたちの3年間の中学校生活の一日一日を大切にしていければと思います。本年もよろしくお願いいたします。

## 【5, 6組影絵発表会】

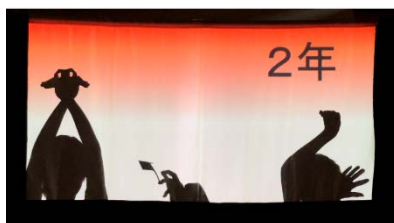
5, 6組では、西公会堂にて毎年市内の中学校が集まり実施されている合同学芸会に向けて、今年は初の「手影絵」に取り組んできました。昨年度は、緊急事態宣言下で早々に中止となり、今年度は二年越しの開催ということもあり、生徒達の合同学芸会に対する思いも強く、「大きな舞台で誰もが感動する演技をしたい」と一生懸命取り組んできました。しかし残念なことに今年の合同学芸会も新型コロナウイルス感染拡大のため、実施予定日数日前に中止が決定してしまいました。これまで頑張ってきたものをせめて保護者の方だけにでもお見せできたらと実現したのが1月19日に実施した影絵発表会でした。

今回の手影絵は、様々な動物の子ども達が、親元を離れ旅立っていく、いわゆる自立をテーマとしています。旅立ちの前に、過去の自分を振り返り、自分の未熟さや身勝手さの裏で、いつも支えてくれていた両親や友達の存在に気づき、今度は自分が誰かを支えられる存在になりたいという思いを胸に抱きます。そして、両親が語っていた本当の優しさや本当の強さとは何かを探し、胸を張っていつかこの場所に帰ってくるという強い気持ちをもって旅立っていく様子を、「遙か」という曲に合わせて演技しました。

影絵の練習を始めたのは、分散登校が明けた10月からです。はじめは本や動画で研究したり、お互いに影の作り方を教えあったりしながら、まずは動物の形をうまく作る練習をしました。その後、音楽に合わせて練習に取り組んだのですが、影の形を意識すると頭が出てしまったり、中腰で踏ん張るものの影が上下に動いてしまったり、タイミングが合わずに空白の時間があつたりと、何度も壁にぶつかりました。しかし、誰一人弱音を吐くことはありませんでした。なぜなら、練習を重ねることでそれが少しずつ改善されてきていることをみんなが実感できていたからです。どんなに難しいことでも、一生懸命努力すればできるようになることをこの影絵を通して学びました。そして全員がより上質な演技を目指すようになりました。

発表会当日、朝から緊張している生徒もいましたが、いざ発表会がスタートするとみんな自分の演技に集中して取り組むことができました。発表後の生徒たちの達成感に満ちた表情から、それぞれが納得のいく演技を披露することができたことがうかがえました。西公会堂での合同学芸会はできませんでしたが、影絵の取り組みを通して、生徒たちは、友達と協力することや自分の役割をきちんと果たすことの大切さ、そして、仲間と一つのものを作り上げる喜びなど多くのことを学ぶことができました。素晴らしい演技を成し遂げた自分自身に誇りを持ち、今後も生活して行ってほしいです。

(個別支援学級担任)



## 【生徒会本部企画 1月21日(金)】

本部企画へのたくさんのご参加、ご協力ありがとうございました。

本部企画では、毎年、「三学年の交流を増やす」ためにレクリエーションを行っていきます。今回はグループごとにハバ抜きを行いました。

企画の準備を本格的に始めたのが冬休み明けからだったため、限られた時間ではありましたが、「瞬〜歩み続ける時間を大切に〜」という生徒会目標のもと、協力して活動することで開催に至りました。

当日は感染症対策のため、アルコール消毒をすることやドアを開けて寒い中で行うことなど様々な制限がありました。ですが、企画後に「楽しかった」や「またやりたい」などの声をきくことができ、開催してよかったと改めて思いました。

今年度の本部企画は、今回が最後となりますが、これからが本番の活動もまだ残っています。

一つ一つの活動に全力で取り組み、明るい高田中を創りあげていきましょう。(生徒会会長 河内 慶太)



## 【ハマ弁デー&試食会 1月21日(金)】注:「ハマ弁」は横浜市中学校給食の旧称です。

1月21日(金)、当校生徒倉田くんの発案メニュー「地産地消で僕らの成長期サポート弁当」がアンコールメニューとして再度ハマ弁で提供され、「たか中ハマ弁デー」が開催されました。当日は「たか中オリジナルハマ弁ソング」と情報委員による倉田くんへのインタビューも聞きながら学校あげて美味しくいただきました。



「地産地消で僕らの成長期サポート弁当」:ハニージンジャーポーク・蒸し野菜、はま菜ちゃんのしらす炒め、三色きんぴら、ひじきたっぴのこチーズオムレツ、コーンクリームチャウダー

## 【ICTと上手につきあいより良い社会を築いていける力を〜技術科】

MESHとMicrobitを用いて、民間のプロに支援をいただきながら、「センサーを使って社会の課題解決をしよう」プログラミング授業を実施しています。ここでの社会は生徒によって身近な自宅だったり、学校だったり、まちだったり、いろいろです。この度、MESHでの取組をSONYさんが事例化してくださいました。



「実践例」中学校2年生 技術「計測・制御のプログラミングによる問題の解決」横浜市立高田中学校」



(右のQRコードをクリックすると記事を読めます。)

## 【まん延防止等重点措置適用期間中における本校の新型コロナウイルス感染拡大防止の取組について】

### <学習活動について>

・マスクを着用する等の感染症対策を講じてもおお感染リスクの高い活動（文部科学省衛生管理マニュアル）として、「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」をまん延防止等重点措置の実施期間においては一時的に停止します。その他、「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に基づき、感染防止策を徹底した上で学習活動を実施します。

### <学校での食事について>

- ・黙食、食事の前と後の手洗い、喫食時以外のマスク着用、全員前向き、高田中安心セット（衝立）使用等、これまでの取組を再徹底します。
- ・食事時の換気を徹底します。横浜市教育委員会の指示により、食事中は全ての窓・扉を開けます。食事中は防寒着の着用可です。

### <健康観察と登校について>

・お子さまの健康観察を今まで以上に注意深く行い、お子さまが自分の健康状態を確実に Google フォームに入力するよう、ご家庭でも再度ご確認ください。生徒本人やご家族、同居の方に少しでも体調不良（咳、喉の痛み、頭痛、発熱、腹痛、倦怠感等）が見られる場合には、お子さまの登校を控えていただき、医療機関を受診してください。（同居する方に発熱等の風邪症状がある場合も同様です。）

・微熱があった場合は、熱が下がったとしても、登校せず、医療機関を受診してください。

※神奈川県 PCR 等検査無料化事業サイトへの QR ⇒

（検査ができる場所のリストの掲載が有ります。）



### <差別・偏見の防止に向けて>

新型コロナウイルス感染症への感染は誰にでも生じうるものです。感染者やその家族等に対する差別的な取り扱いや誹謗中傷など、差別や偏見につながるような行為が生じないよう粘り強く丁寧に指導を続けてまいります。

学校での感染拡大を防止するには、ご家庭の協力が不可欠です。

引き続きご協力をお願いいたします。

春の息吹を感じる職員玄関。

「花と緑の会」のみなさま、いつもありがとうございます。

